

にちにち通信

竹原市に住んでいる方へ、竹原市に来た方への情報紙



杏竹館 (KYOCHIKUKAN) 特集
菜の花咲かせ隊の取り組み

1

佇む時間空間

杏竹館

内科中島医院（現・中島内科クリニック）先代院長中島武嗣氏が、竹

原にゆかりのある芸術家と音楽家の作品や演奏を多くの方に楽しんでもらうための場所として始めた杏竹館（きょうちくかん）。開館から約30年たった今も、数十点の書物や絵画、そして演台には音色が美しいスタインウェイのピアノがあります。館内は落ち着いた内装、シャンデリア風の照明、そして中二階まで吹き抜けになった天井は見上げると開放感があり、居心地の良さを感じます。



中央2丁目、竹原駅から徒歩10分、芸陽バス新港橋バス停から降りてすぐの場所。木・金・土曜日を中心に、入館料100円（コーヒー付）で、一般の方も利用できる多目的ホールです。館内では竹原にゆかりのある芸術家の書や絵に囲まれながら、穏やかな音楽とともに悠々とした時間を過ごすことができます。このような空間は現代では貴重です。

入館後は、スタッフの方に美味しいコーヒーを淹れていただけます。館内に設置されたテーブルと椅子はカフェのように自由に使うことができます。数百点を超える蔵書から本を選んで読書に浸るもよし、無料WiFiを利用して仕事に勤しむもよしです。

杏竹館の開館当初、武嗣氏は、芸術家との交流の機会も多く、その集いの場所として多くの方がこの地を訪れ、数多くの作品が展示されていたようです。当時は三原市芸術文化センターや、ふくやま芸術文化ホールなどが開館する前でした。そのため、福山から呉までの広い地域の中で、こうした芸術作品や音楽活動を魅せる空間が整っておらず、広島・福山市内から、杏竹館を目的に竹原を訪ねる方も多かったそうです。館内に展示されている一部の作品は購入することも可能です。さらに、個展や演奏会、レンタルスペースとしての利用は随時受け付けており、来館のほか電話やインスタグラムのダイレクトメッセージから声をかけてもらえれば相談可能とのことでした。



杏竹館オーナー
中島 英勝 さん



竹原生まれ。高校卒業まで竹原で育ち、大学卒業後は広島県内の呼吸器内科医として活躍。2010年より、内科中島医院を継承し、中島内科クリニックと名を改め、院長として、多くの患者の診療にあたっている。クリニックと同じく、多目的のホール杏竹館も継承している。

杏竹館 詳細

アクセス：竹原駅から徒歩10分

営業日：木・金・土曜日

営業時間：13時から17時

入館料：大人100円・中高生50円

SNS：kyochikukan_takehara

(Instagram・お問い合わせ先)



Trattoria M
室岡真人シェフ

静岡県出身。関東から竹原へ移住。竹原市中央の飲食店、イタリア食堂 Trattoria M (トラットリアエム) のシェフ。2月に竹原PR大使に就任。

国道185号の道すがら「菜の花」を咲かせようという想いで室岡真人氏がフェイスブック等で呼びかけ、30名以上の方が集まり種蒔きを行いました。

室岡真人氏は、トラットリアエムのシェフであり、この企画の発起人。彼にこの場所について伺ってみると、

「(この場所の)イメージは、吉名にある手良向公園。あの公園は私設の公園なんです。知り合いのお店のおじいちゃん、自分で山につつじを植えて、公園にした場所なんです。いろんな人が、そのつつじを見に行ったり、公園までの登山を楽しんだりして、憩いの場になっている。竹原の人たちが、遠足でこの公園に行くと、『行くのが大変だった』という苦い記憶がありながらも、行った人の思い出になっているのが素敵だなと思って」と、熱く語ってくれました。この場所がそれぞれの人の思い出の場所になるようにという想いをもって、土地の整備から始めたといいます。



菜の花咲かせ隊

室岡氏はさらにこう話してくださいました。「私やオーナーの方も、この素敵な景色の中でゆっくりとした時間を過ごすためにこの場所を使ってもらうことが一番良いと思っています。その第1弾として、(菜園のプロではない私達がやるなら)菜の花が一番やりやすいんじゃないか、ということ、この企画を始めました。ゆくゆくは、イベントやお食事などを楽しむ場所として、さらには菜の花畑と逆の方向に広い場所があるので、そこらではドッグランを考えています。ここを訪れた人が素敵な時間を過ごせる場所になったら良いなと思っています。青い空、瀬戸内の海の色合いと菜の花の黄色のコントラストが見られることを願うばかりです。」



アクセス：国道185号線道沿い
竹原駅から車で10分・自転車20分
バンブー運動公園から車で5分
※地理院地図を使用しています

編集だより

はじめまして。私たちは、にちにち通信と申します。本号を手にとって頂きありがとうございます。初めてのことが多くて、竹原の皆様のご協力のもと作り上げることができたフリーペーパーです。これから、竹原のこと、また竹原周辺地域のことを取り上げて、面白いなと思ってもらえるように頑張りたいと思います。

手に取ってもらっている方が竹原の方、竹原市外・広島県外からの方でも楽しめるような内容にしていければと思っています。よろしく願いいたします。次号は、3月初旬に発行いたします。どうぞ楽しみにしていただけると嬉しいです。

Umi舎（ユーマーシャ）
☒ nichinichi.2sin



Flobis



いいね竹原



NISHIKAN

